

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

11 月 19 日 11 時 48 分の和歌山県南部の地震について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため 1989 年 1 月より月 1 回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

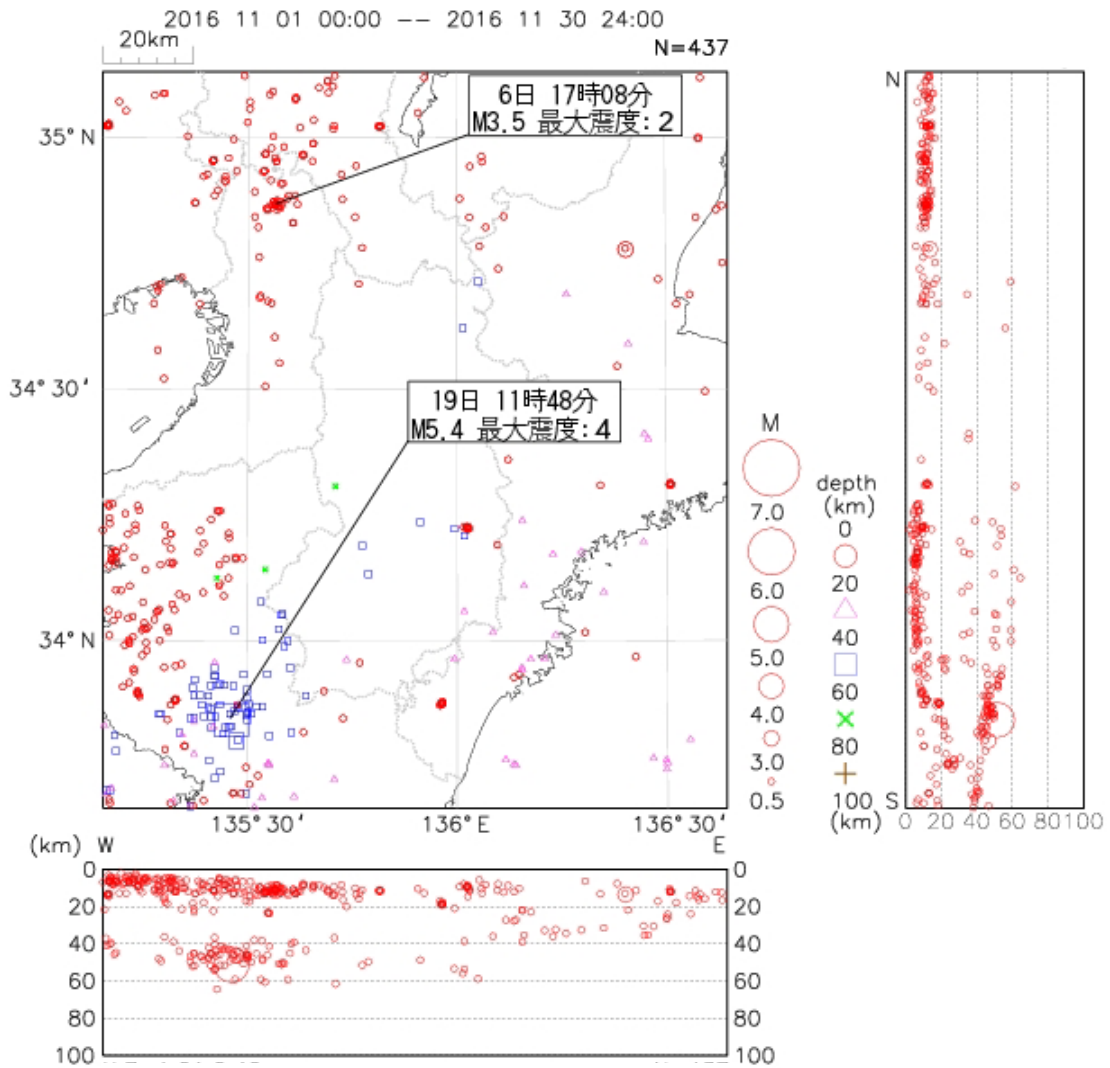
※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2016 年 11 月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

6日17時08分 大阪府北部の地震 (M3.5、深さ11km) により、奈良県では、大和郡山市・桜井市・生駒市・宇陀市で震度2を観測したほか、奈良県北部のほぼ全市町村で震度1を観測しました。また、滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県で震度2～1を観測しました。

19日11時48分 和歌山県南部の地震 (M5.4、深さ51km) により、奈良県では、大和郡山市・五條市・高取町・広陵町・下北山村で震度4を観測したほか、全市町村で震度3～1を観測しました。また、関東から四国地方にかけて震度4～1を観測しました。

22日05時59分 福島県沖の地震 (M7.4、深さ25km：活動図範囲外) により、奈良県では、大和郡山市で震度2を観測したほか、奈良市・大和高田市・安堵町・川西町・三宅町で震度1を観測しました。また、福島県・栃木県・茨城県で最大震度5弱を観測したほか、北海道から中国地方にかけて震度4～1を観測しました。

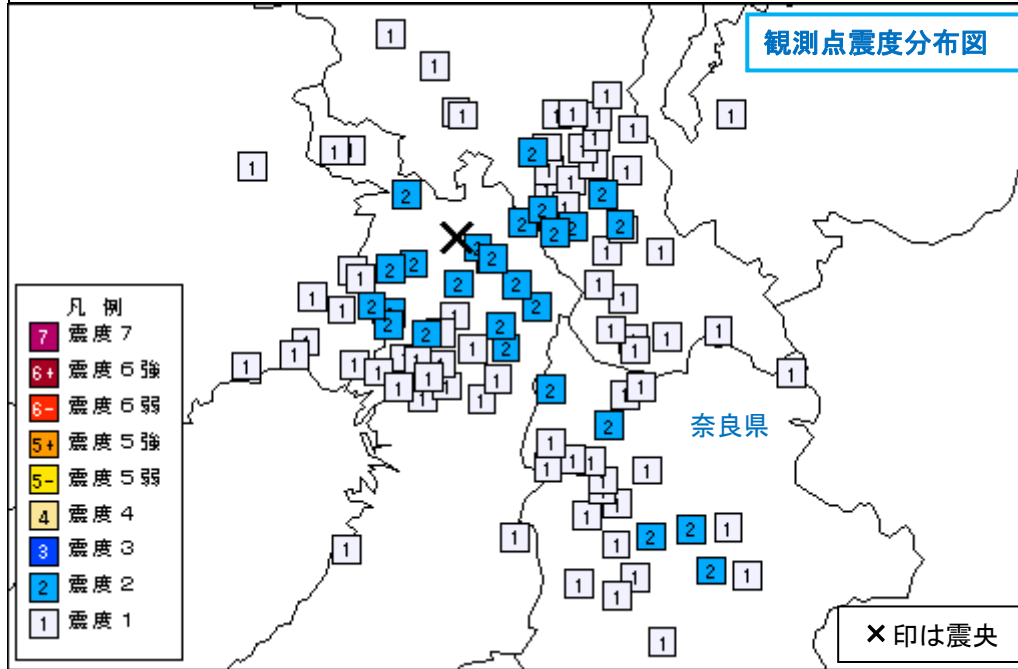
【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

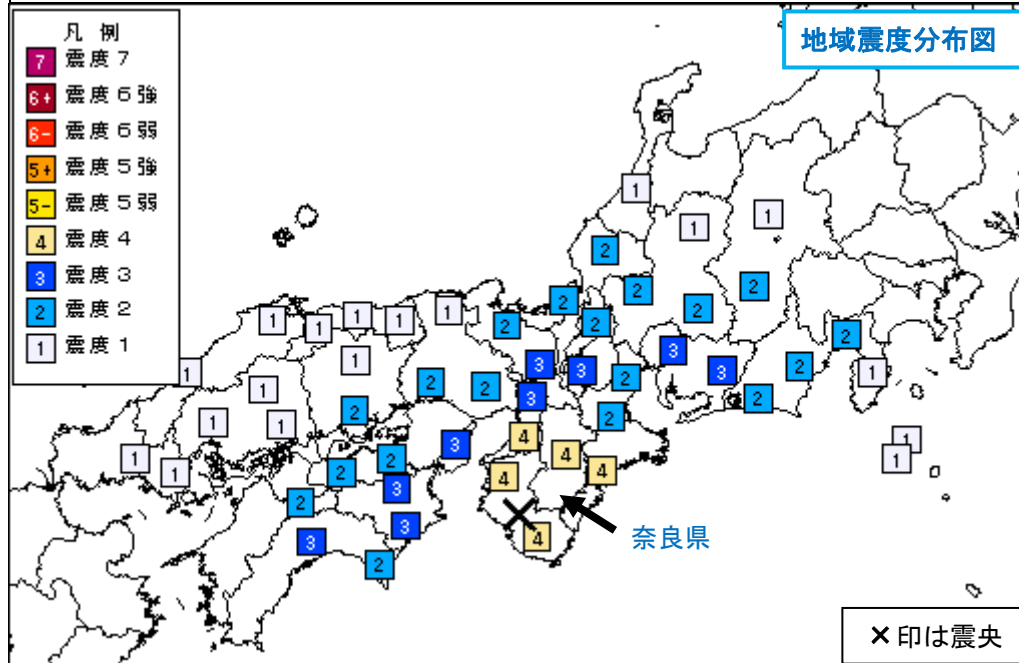
震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
2016年11月06日17時08分	大阪府北部	34° 51.9' N	135° 34.0' E	11km	M3.5
奈良県	震度 2 : 大和郡山市北郡山町*, 桜井市初瀬, 桜井市栗殿*, 生駒市東新町*, 宇陀市大宇陀迫間*				
	震度 1 : 奈良市半田開町, 奈良市月ヶ瀬尾山*, 奈良市二条大路南*, 天理市川原城町*, 橿原市八木町*, 御所市役所*, 平群町吉新*, 三郷町勢野西*, 斑鳩町法隆寺西*, 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*, 田原本町役場*, 高取町観覚寺*, 明日香村岡*, 広陵町南郷*, 吉野町上市*, 宇陀市菟田野松井*, 宇陀市榛原下井足*				
2016年11月19日11時48分	和歌山県南部	33° 50.5' N	135° 27.8' E	51km	M5.4
奈良県	震度 4 : 大和郡山市北郡山町*, 五條市本町*, 五條市大塔町辻堂*, 高取町観覚寺*, 広陵町南郷*, 下北山村寺垣内*				
	震度 3 : 奈良市半田開町, 奈良市二条大路南*, 大和高田市野口*, 大和高田市大中*, 天理市川原城町*, 橿原市八木町*, 桜井市初瀬, 桜井市栗殿*, 五條市西吉野町*, 御所市役所*, 生駒市東新町*, 香芝市本町*, 平群町吉新*, 三郷町勢野西*, 斑鳩町法隆寺西*, 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*, 田原本町役場*, 上牧町上牧*, 王寺町王寺*, 河合町池部*, 吉野町上市*, 大淀町楡垣本, 下市町下市*, 黒滝村寺戸*, 天川村洞川, 野迫川村北股*, 十津川村小原*, 奈良川上村迫*, 東吉野村小川*, 葛城市柿本*, 葛城市長尾*, 宇陀市菟田野松井*, 宇陀市大宇陀迫間*				
	震度 2 : 奈良市都祁白石町*, 平群町鳴川, 曾爾村今井*, 御杖村菅野*, 明日香村岡*, 上北山村河合*, 宇陀市榛原下井足*, 宇陀市室生大野*				
	震度 1 : 奈良市月ヶ瀬尾山*, 山添村大西*				
2016年11月22日05時59分	福島県沖	37° 21.2' N	141° 36.2' E	25km	M7.4
奈良県	震度 2 : 大和郡山市北郡山町*				
	震度 1 : 奈良市半田開町, 奈良市二条大路南*, 大和高田市大中*, 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*				

* 地方公共団体の震度観測点です。

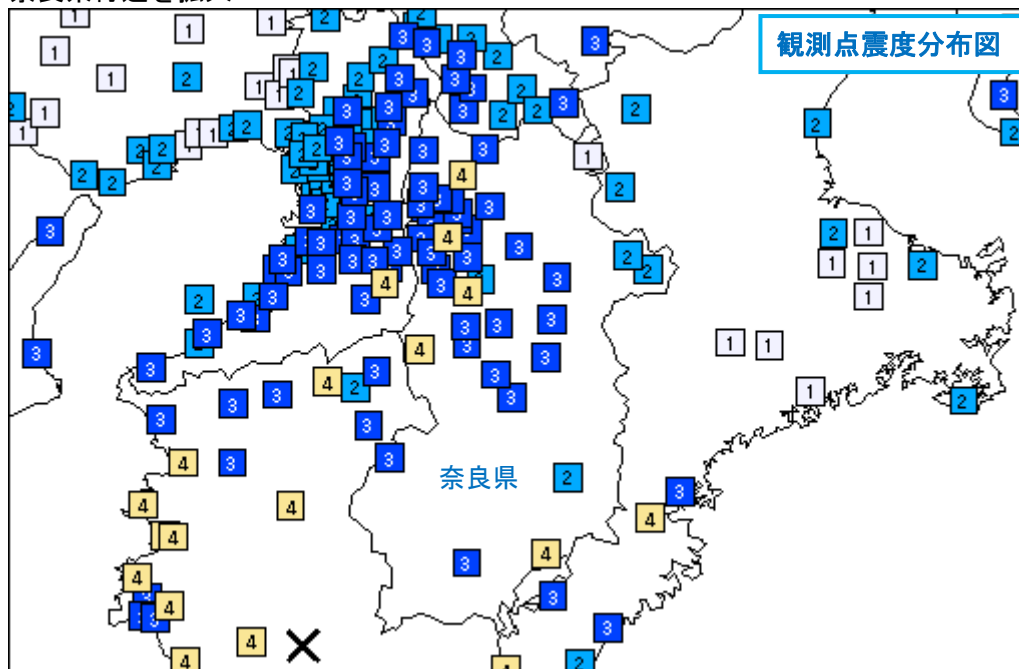
【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

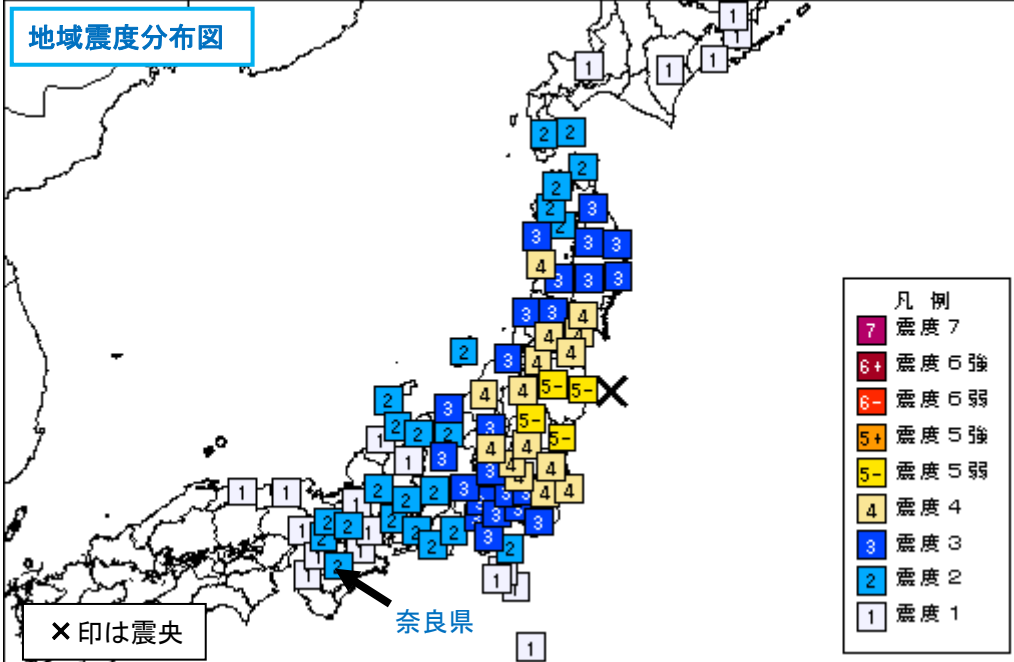
2016年11月06日17時08分 大阪府北部 34° 51.9' N 135° 34.0' E 11km M3.5



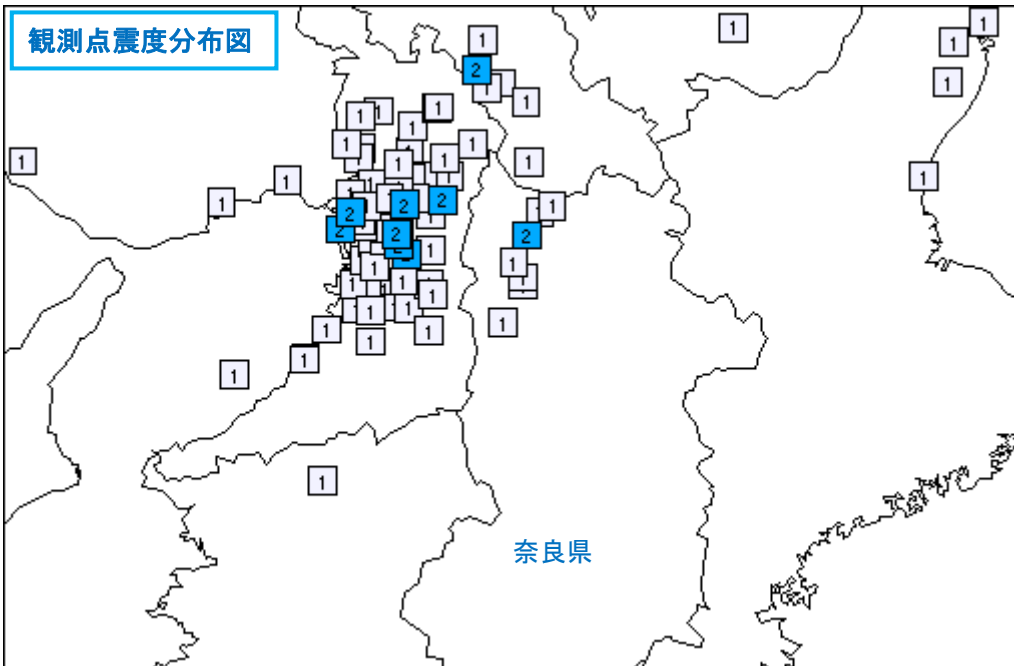


奈良県付近を拡大





奈良県付近を拡大



【地震一口メモ】

～11月19日11時48分の和歌山県南部の地震について～

地震概況にも記載しているとおり、11月19日11時48分に和歌山県南部を震源とするマグニチュード5.4の地震が発生し、奈良県では震度4～1を観測しました。この地震による県内の被害はありませんでした。

図1、2及び表に示すように、奈良県や奈良県周辺では、フィリピン海プレート内部を震源とする地震が発生します。1997年10月以降で、プレートの内部を震源とする地震により、県内で震度5弱は2回、震度4は5回観測しています。また、これら以前にも規模の大きな地震の記録があります。例えば、1899年3月7日の奈良県・三重県の県境付近で発生した地震（M7.0:「紀伊大和地震」ともいう）や1952年7月18日の吉野地震（M6.7）では県内でも死者がでるなど大きな被害が発生しました。

なお、大阪管区気象台発行の週間地震概況2016年48号にもこの地震についての解説が掲載されていますので併せてご覧ください。

なお、大阪管区気象台発行の週間地震概況2016年48号にもこの地震についての解説が掲載されていますので併せてご覧ください。

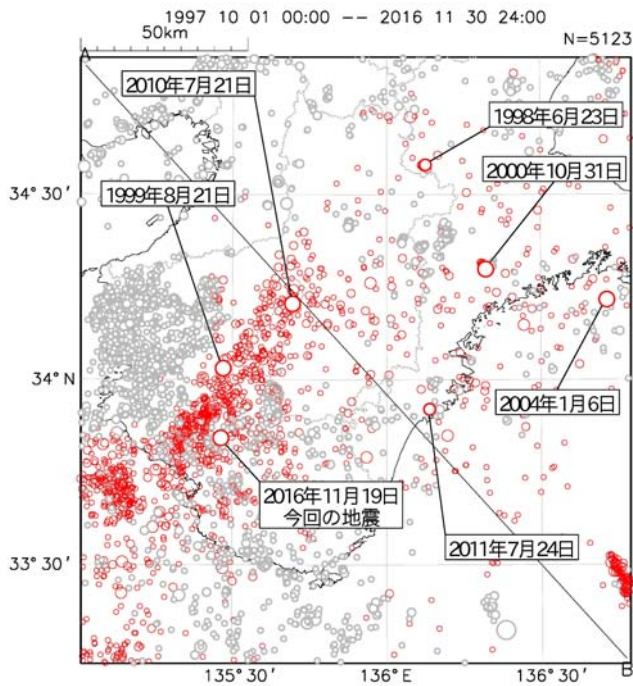


図1 震央分布図

(1997年10月～2016年11月、深さ0～30kmは灰色、30～80kmは赤色、M≥2.0)

表 過去の地震

年月日	震源地名	マグニチュード	県内最大震度
1998年6月23日	三重県中部	4.3	4
1999年8月21日	和歌山県北部	5.6	5弱
2000年10月31日	三重県南部	5.7	5弱
2004年1月6日	三重県南東沖	5.4	4
2010年7月21日	奈良県	5.1	4
2011年7月24日	三重県南部	4.8	4
2016年11月19日	和歌山県南部	5.4	4

(図1に示す期間、範囲内の深さ30～80kmで震度4以上を観測した地震)

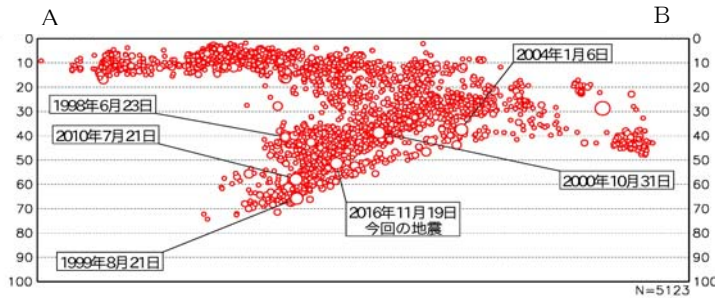


図2 図1のA-B断面図

(1997年10月～2016年11月、M≥2.0)